

プロテイン★アイランド★松山 国際シンポジウム2009

Protein Island Matsuyama (PIM) International Symposium 2009

9/24
Thursday

・9:00～18:30 (使用言語:英語)

The 7th Matsuyama International Symposium on Cell-Free Sciences

第7回 無細胞科学松山国際シンポジウム Venue: ANA HOTEL MATSUYAMA

- ・Yasuo Endo (Ehime University, JPN)
- ・Michael Overduin (University of Birmingham, GBR)
- ・Alan Cowman (The Walter and Eliza Hall Institute of Medical Research, AUS)
- ・Anthony A. Holder (MRC National Institute for Medical Research, GBR)
- ・Douglas Holtzman (Bill & Melinda Gates Foundation, USA)
- ・Brian G. Fox (University of Wisconsin-Madison, USA)
- ・Robert L. Moritz (Institute for Systems Biology, USA)
- ・Yasuo Suzuki (Chubu University, JPN)
- ・Kunitada Shimotohno (Chiba Institute of Technology, JPN)
- ・Takafumi Tsuboi (Ehime University, JPN)
- ・Nobuhiro Yuki (Niigata National Hospital, JPN)

9/25
Friday

・14:00～16:00

企業向け「無細胞タンパク質合成系を利用したバイオテクノロジー研究」 セミナー

会場: 愛媛大学 総合情報メディアセンター (松山市文京町3)

9/26
Saturday

・13:00～16:00

一般向け「集まれ! 理科大好きっ子 セミナー ～タンパク質って、すごくない!?～」

会場: 松山市総合コミュニティセンター (松山市湊町7丁目5番地)



■主催 愛媛大学, 愛媛県, 松山市, 松山商工会議所 ■協賛 大塚製薬(株), (株)セルフリーサイエンス, 大鵬薬品工業(株), (株)パーキンエルマー・ジャパン
■共催 愛媛経済同友会, 愛媛県中小企業団体中央会, 愛媛県中小企業家同友会, (財)えひめ産業振興財団, (財)松山観光コンベンション協会, NHK松山放送局, 愛媛新聞社 ■後援 日本生化学会, 日本化学会, 日本農芸化学会

お問合せ・運営体 プロテイン・アイランド・松山 国際シンポジウム 実行委員会 事務局 (松山市産業経済部地域経済課内) ☎089-948-6710

◆参加申し込み等詳細はホームページでご案内しています。

<http://www.pim-sympo.jp/index.html>

参加無料

集まれ!理科大好きっ子~タンパク質って、すごくない!?!~

・時 間 13:00~16:00

・参加費用 無料

・定 員 聴講者140名

・会 場 松山市総合コミュニティセンター 3階 大会議室

・対 象 一般・企業・学生

実験者 60名(中学生のみ対象)

生命の理解やバイオテクノロジーの進展に触れて頂く機会として、広く一般・企業・教師・学生・生徒の方々を対象としたセミナーを開催します。生命科学における知識と技術はこの50年で大きく進展し、今日では生命活動を物理や化学の法則に従った現象として理解できるようになりました。人の精神活動でさえも、理解を越えた摩訶不思議なものではなく、生命を正しく知ることは「人間を知り、自分を知る」きっかけにもなるでしょう。本セミナーでは、様々な生命活動にタンパク質の働きが不可欠であること、そしてタンパク質が生きた細胞の中だけでなく試験管の中でも、遺伝情報にしたがって作られていくこと、そして無細胞タンパク質合成技術が多くの分野に利用できること、などについて、簡単な実験を交えて解説します。

実験

中学生の皆さんに実験にチャレンジしてもらいます。一般の皆さんには、普段見ることのできない科学実験の様子を間近でごらんいただける貴重な機会です!

ぜひふるって
ご参加ください。

1. 試験管の中でタンパク質を作ろう!



種々の色合いをもつ蛍光タンパク質

ノーベル賞で
有名になった
蛍光タンパク質を
愛媛大学遠藤教授が
開発した技術で
再現してみよう!

2. ブロッコリーからDNAを取り出そう!



講演

大学教授による実験のくわしい解説と講演を行います。

「タンパク質を組み立てる」

林 秀則

(愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター 教授)

生きた細胞の中では遺伝子に書き込まれた情報に従って正しくタンパク質が作られます。つまり遺伝子はタンパク質の設計図ということになります。遺伝子はデオキシリボ核酸(DNA)という物質で、どの生物も持っています。DNAがどのようなものか、そこからどうやってタンパク質が組み立てられるのか、実感してみましょう。

「私は何者でしょう?生き物って?」

—神秘的な生命の原理を探ってみよう—

遠藤 弥重太

(愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター長、教授)

タンパク質の性質や働きは多種多様です。そして一つのタンパク質の性質は様々な生命活動に深く関わってきます。細菌からヒトに至る地球上の全生物の生命活動、さらには人の精神活動までもが、多数のタンパク質の性質を解き明かすことによって理解できるようになります。

「タンパク質はマラリアを無くす切り札」

坪井 敬文

(愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター 教授)

マラリアは、アフリカなどの熱帯の国々で多くの人々を苦しめている病気です。マラリア原虫と呼ばれる小さな虫がヒトの体の中で暮らしてこの病気になります。なぜタンパク質がマラリアを無くす切り札となるのか、わかりやすくその謎にせまってみましょう。

「光合成タンパク質は巨大で複雑」

杉浦 美羽

(愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター 准教授)

光合成では、90%の効率で光から変換したエネルギーを使って水や二酸化炭素から酸素とデンプンを作っています。水の分解反応は複雑な構造をしたタンパク質複合体によって行われ、生命の中で最も大きなタンパク質のひとつです。光合成による水の分解がどのようにして行われているのかが分かれば、エネルギー問題の解決の糸口になるかもしれません。

会場案内

9/26(土)

《会場》松山市総合コミュニティセンター
3階 大会議室 (〒790-0012 松山市湊町7丁目5番地)

・伊予鉄バス松山市駅からJR松山駅前行もしくは津田団地前行に乗り「松山市総合コミュニティセンター前」で下車(150円)
・松山市駅から徒歩10分、JR松山駅から徒歩10分



参加申し込み

以下のいずれかの方法で参加申し込みをしてください。

①右記ホームページにて登録 <http://www.pim-sympo.jp/index.html> ②下記必要事項をご記入の上、このままFAX:089-934-1844

参加登録 ※参加希望のセミナーにチェックを入れてください。	<input type="checkbox"/> 聴講参加	定員140名 ※無料、定員になり次第締め切らせていただきます。	<input type="checkbox"/> 実験参加	定員60名 ※無料、中学生のみ対象、締切8月31日(月) 応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。
氏名	ふりがな()			
住所				
電話番号	FAX			
E-mail				
企業名・学校名				